

検討の観点（「国語表現」2東書 国表702）

項目	観点	特色・具体例
1	内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ○実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を育成できるように、教材は厳選され、バランスよく配列されている。 ○全体は、9つの通常単元（「分かりやすく説明しよう」「身体で表現しよう」など）と、3つの特別単元（「表現とは何か」「表現と読書活動」「心をつかむ表現」）で構成されており、学習指導要領に示されている指導事項及び言語活動例が適切に具現化されている。 ○接続詞の活用や問いの重要性などの汎用的な内容については、コラム「スキルアップ」に独立して示し、他の単元の活動でも参照しやすいように配慮されている。 ○単元末コラム「表現の窓」では、その単元の内容に広い意味で関わる示唆に富んだ文章を掲載し、その単元の活動を行う際に参考にできるよう工夫されている。
2	組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> * 内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 * 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 * 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。 <ul style="list-style-type: none"> ○最初の見開きで、その単元で扱うテーマや用語などを取り上げて確認させたり、テーマに関わる自らの体験を振り返らせる設問「ウォーミングアップ」を設けたりしており、その後のスムーズな学習展開が可能である。 ○単元の最後に「リフレクション」の項目を設け、単元の学習を振り返り、受け止め、まとめ、今後の活用を考えることができるように工夫されている。 ○全体で12単元の構成は、年間指導の点から、無理なく学習できる適切な分量である。 ○単元内容に応じて、「ステップ」や「ポイント」ごとに区切って示されており、生徒の実態に応じて弾力的かつ効果的に学習を深めるための配慮がなされている。
3	表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 * 用語・記号の取り上げ方や記述の仕方は適切か。 * 生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 * 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。 <ul style="list-style-type: none"> ○全体にわたって高校生の生活感覚に近く、社会生活でも起こりえるような話題を取り上げており、学習意欲を喚起させることができる。また、学習活動を促す「エクササイズ」も身近で具体的であり、主体的な活動が期待できる。 ○用語・記号は統一されており、記述の仕方も適切である。 ○附録に、表現活動をする際に活用できる「思考ツール」の手順を示したページや、正しい表記の仕方や敬語の使い方を示した「文の書き方」「敬語表現」を設けている。また「同音異義語」「同訓異義語」「三字熟語・四字熟語」「故事成語・ことわざ・慣用句」等についてまとめたページを設け、語彙を増やしてより適切な表現ができるよう工夫されている。これらの資料の充実は生徒の自学自習にも役立つ。 ○巻末には「この教科書で学ぶこと」が設けられ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習を見通したり振り返ったりすることができる。 ○教科書を支援する指導書や周辺教材、デジタルコンテンツなどが充実しており、指導しやすく学習しやすい教科書である。
4	印刷・造本上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 * 環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされているか。 <ul style="list-style-type: none"> ○活字は鮮明で美しく、文字の大きさ、行間も適切で読みやすい。写真、挿し絵も鮮明で効果的である。 ○製本は堅牢で、軽量の紙が使用されており、生徒の負担に配慮されている。 ○図の色使いなどは、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとなっており、全ページにわたって配色が工夫されており、見やすい紙面になっている。 ○本文の用紙には再生紙と植物油インキが使用されており、地球環境や資源に及ぼす影響も考慮されている。
5	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> * 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学習意欲を喚起し、質的に優れた教材がバランスよく採録されており、分量も適切である。また、各単元の構成にもきめ細やかな配慮がなされており、実社会における伝え合う力、自分の思いや考えを広めたり深めたりする力を、高めることに適した教科書である。